



元気いっぱい！ 苅っポー



3月

No. 218

令和6年3月13日

夢と希望に向かって
努力する子ども

友達と仲良く
助け合う子ども

約束や決まりを守り
あいさつする子ども

努力の階段

～あきらめない心～

3月も第3週に入り、どの学級でも、この時期は新たな気持ちで進学、進級を迎えるために、1年間の取組に対するふり返りを行っている真っ最中です。

子どもたちに簡単に諦めずに、粘り強く努力を続けることの大切さを伝えたいと考え、毎年お伝えしていますが、再掲します。

みなさんは、4月、気持ちも新たに今年1年間、こんなことができるように取り組みたいと目標を立てたと思いますが、達成できましたか。それとも達成できずに継続して取り組んでいるところですか。あるいは、取り組んではみたものの思ったような成果が感じられずに、途中で諦めてしまった人もいるのではないのでしょうか。諦めてしまった人たちに特に聞いてほしい話をします。

よく『努力を積み重ねていくこと』を『1歩1歩、階段を上っていくこと』に喩える場合があります。努力をしているのですから昨日より今日、今日より明日の方が成長しているはずですが。階段を10段も上ると、かなりの高さになり、視野も広がります。視野の広がりは今まで見えなかった景色が見えることにつながり、日々の努力の成果を実感しやすいものです。しかし、みなさんが目標とした多くは簡単には達成できず、日々の努力を重ねても階段を上るようには、成果を感じられないかもしれません。実は、**努力の階段**は何処までも緩やかに続く坂道のようなものではないかと考えます。緩やかに続く坂道ですから、1歩1歩の成果はなかなか感じられません。

努力を続けていると、ある日突然、目の前にエレベーターが現われて瞬く間にみなさんを上階に運んでくれる瞬間がやってくるのです。みなさんは自転車に乗れるようになった日のことを覚えていますか。泳げるようになった日のことを覚えていませんか。その瞬間は突然にやってきませんでしたか。

これが努力が成果と結びついた証なのです。

ただし、このエレベーターに乗れる瞬間が訪れるのは人によって様々なのです。その瞬間は、明日来るかもしれません。1ヶ月後かも、もしかしたら1年後かも、数年先かも…。

不公平に感じるかもしれませんね。しかし、目標に向かって諦めずに努力を続けた人へのみ、その瞬間は訪れるのです。

だからこそ、目標を決めて取り組み始めたら成果が出ないからといって、簡単に諦めずに、努力を続けてほしいと思います。

